平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月7日

上場会社名　宮地エンジニアリンググループ株式会社　　上場取引所　東
コード番号　3431　URL　http://www.miyaji-eng.com/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 青田　重利
問合せ先責任者 (役職名) 取締役　(氏名) 越後屋　秀博　TEL 03-5649-0111

四半期報告書提出予定日　平成25年11月11日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	11,134	17.0	1,039	346.7	1,037	364.5	956	675.7
25年3月期第2四半期	9,512	4.1	232	△58.2	223	△61.2	123	△77.8

(注)包括利益　26年3月期第2四半期　1,406百万円　(―%)　25年3月期第2四半期　70百万円　(△81.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	14.05	―
25年3月期第2四半期	1.81	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	30,172	13,771	45.6
25年3月期	29,818	12,366	41.5

(参考) 自己資本　26年3月期第2四半期　13,771百万円　25年3月期　12,366百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	0.00	―	0.00	0.00
26年3月期	―	0.00			
26年3月期(予想)			―	2.00	2.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　有

配当予想の修正につきましては、本日(平成25年11月7日)公表いたしました「平成26年3月期(第11期)配当予想の修正(復配)に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,500	15.8	1,100	83.0	1,000	68.7	900	89.5	13.22

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	69,194,543 株	25年3月期	69,194,543 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	1,108,757 株	25年3月期	1,104,634 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	68,087,752 株	25年3月期2Q	68,091,770 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 2
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
４．補足情報 …… 9
生産、受注及び販売の状況（連結） …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国の金融・財政政策の動向による影響など海外景気の下振れ要因から先行き不透明な状況で推移いたしましたが、政府の経済対策の効果が発現するなか、輸出や生産などに持ち直しの動きが見られ、景気は緩やかに回復したものと思われます。

当社グループの主力である道路橋・鉄道橋などの橋梁事業につきましては、平成24年度補正予算および平成25年度予算を合わせた15ヶ月予算の執行などに伴い当第２四半期連結累計期間の総発注量が前年同期比で大幅に増加したものの、受注競争は未だ激しく、厳しい事業環境となりました。

このような環境下、グループの有する設計・製作・架設力などの総合エンジニアリング力を最大限活かし、道路橋などの公共事業、鉄道橋・鉄構などの民間事業、保全・補修事業、合成床版などのＦＲＰ事業などに注力し、受注、売上、利益を安定的に確保するための施策を継続的に推進しております。

当第２四半期連結累計期間の受注高につきましては、技術提案力の強化、積算精度の向上など積極的な営業活動に努めた結果、92億10百万円（前年同期比7.6%減）となりました。

売上高につきましては、前年度に増加した手持ち工事の生産・施工が順調に推移したことから、111億34百万円（同17.0%増）となりました。

損益につきましては、グループの生産・架設の技術力を活かした採算性の良い工事の生産比率が高まったことに加え、全社挙げての経費削減など経営全般にわたるコスト削減に注力した結果、営業利益は10億39百万円（同346.7%増）、経常利益は10億37百万円（同364.5%増）、四半期純利益は９億56百万円（同675.7%増）となりました。

（２）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

資産合計は、前連結会計年度末と比較して３億53百万円増加し、301億72百万円となりました。主な要因は、投資有価証券が10億５百万円、現金預金が７億５百万円増加しましたが、受取手形・完成工事未収入金が12億32百万円、未成工事支出金が60百万円減少したためであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比較して10億51百万円減少し、164億円となりました。主な要因は短期借入金が10億50百万円減少したためであります。

純資産合計は、前連結会計年度末と比較して14億５百万円増加し、137億71百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が９億56百万円、その他有価証券評価差額金が４億49百万円増加したためであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して７億２百万円増加し、55億38百万円となりました。

当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、18億21百万円の資金増加（前年同期は６億65百万円の減少）となりました。主な要因は、税金等調整前当期純利益10億32百万円、売上債権の減少12億32百万円、未成工事受入金の減少２億72百万円および工事損失引当金の減少２億59百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、３億41百万円の資金減少（前年同期は57百万円の減少）となりました。主な要因は、投資有価証券の取得による支出３億７百万円および有形固定資産の取得による支出33百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、７億77百万円の資金減少（前年同期は６億78百万円の増加）となりました。主な要因は、短期借入金の減少10億50百万円および長期借入れによる収入３億円であります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

わが国経済につきましては、今後も海外経済の不透明さや対外的な不安定要因などの影響はあるものの、徐々に景気回復の動きが確かなものとなることが予想されます。

当業界を含む道路インフラを担う建設業界につきましては、震災後、改めて公共事業の必要性が見直され、再生に向け様々な施策が実施されております。また震災復興工事、15ヶ月予算の執行などに伴う更なる需要増が期待されるなか、受注環境に改善が見られつつあるものの、依然として需給ギャップが大きく、引き続き激しい受注競争が続くものと思われます。

当社グループは、柱である新設橋梁事業、鉄道橋・鉄構などの民間事業の更なる強化を図るとともに、今後高い成長が期待される首都高速道路、ＮＥＸＣＯおよびＪＲなどの大規模改修を始めとした保全・補修事業、合成床版・検査路などの有望な製品の多いＦＲＰ事業、土木関連事業に経営資源を積極的に投入し経営基盤を強化して、

一段の飛躍を図ってまいります。

加えて、グループが保有する豊富な実績・技術力・架設力を活かし、技術提案力、積算精度の更なる向上を図り、情報収集力を高め、総力を挙げて安定的な受注の確保に努めてまいります。また、設計・計画・製作から架設までの総合エンジニアリング力の強化と採算性の更なる向上を図ってまいります。

なお、通期連結業績予想につきましては、本日（平成25年11月７日）公表の「平成26年３月期第２四半期連結累計期間業績予想数値と実績値との差異および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金預金	4,892,145	5,597,716
受取手形・完成工事未収入金	9,774,531	8,542,256
未成工事支出金	170,281	109,868
その他	226,538	291,631
流動資産合計	15,063,496	14,541,472
固定資産		
有形固定資産		
土地	8,374,729	8,374,729
その他（純額）	2,635,962	2,530,513
有形固定資産合計	11,010,691	10,905,242
無形固定資産	156,597	136,466
投資その他の資産		
投資有価証券	3,342,663	4,348,526
その他	319,892	315,325
貸倒引当金	△74,540	△74,540
投資その他の資産合計	3,588,016	4,589,312
固定資産合計	14,755,305	15,631,022
資産合計	29,818,801	30,172,494
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金	4,054,375	4,475,090
短期借入金	6,020,000	4,970,000
未払法人税等	100,627	88,960
未成工事受入金	1,174,270	901,580
工事損失引当金	776,500	516,900
その他の引当金	259,413	253,082
その他	697,882	334,174
流動負債合計	13,083,069	11,539,790
固定負債		
再評価に係る繰延税金負債	2,213,913	2,213,913
退職給付引当金	1,441,343	1,428,167
その他の引当金	59,713	33,142
その他	654,390	1,185,691
固定負債合計	4,369,361	4,860,915
負債合計	17,452,430	16,400,705

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年９月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,000,000	3,000,000
資本剰余金	3,746,225	3,746,225
利益剰余金	1,781,830	2,738,454
自己株式	△223,473	△224,109
株主資本合計	8,304,582	9,260,570
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	631,768	1,081,199
土地再評価差額金	3,430,019	3,430,019
その他の包括利益累計額合計	4,061,787	4,511,219
純資産合計	12,366,370	13,771,789
負債純資産合計	29,818,801	30,172,494

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
完成工事高	9,512,763	11,134,032
完成工事原価	8,544,537	9,334,468
完成工事総利益	968,226	1,799,564
販売費及び一般管理費	735,415	759,684
営業利益	232,810	1,039,879
営業外収益		
受取利息	954	762
受取配当金	29,198	34,991
スクラップ売却益	13,221	18,174
その他	36,516	18,018
営業外収益合計	79,891	71,947
営業外費用		
支払利息	47,724	35,383
異常操業損失	31,956	31,602
その他	9,670	7,271
営業外費用合計	89,351	74,257
経常利益	223,350	1,037,569
特別利益		
固定資産売却益	20	－
特別利益合計	20	－
特別損失		
固定資産除却損	404	5,554
投資有価証券評価損	68,182	－
特別損失合計	68,586	5,554
税金等調整前四半期純利益	154,783	1,032,014
法人税、住民税及び事業税	31,041	73,722
法人税等調整額	425	1,668
法人税等合計	31,466	75,390
少数株主損益調整前四半期純利益	123,317	956,623
四半期純利益	123,317	956,623

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	123,317	956,623
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△53,117	449,431
その他の包括利益合計	△53,117	449,431
四半期包括利益	70,199	1,406,054
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	70,199	1,406,054

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	154,783	1,032,014
減価償却費	174,897	164,413
貸倒引当金の増減額（△は減少）	6,685	－
工事損失引当金の増減額（△は減少）	53,902	△259,600
受取利息及び受取配当金	△30,152	△35,754
支払利息	47,724	35,383
投資有価証券評価損益（△は益）	68,182	－
売上債権の増減額（△は増加）	△1,542,834	1,232,274
未成工事支出金等の増減額（△は増加）	△32,454	63,529
仕入債務の増減額（△は減少）	313,716	420,715
未成工事受入金の増減額（△は減少）	△484,525	△272,689
その他	652,745	△477,567
小計	△617,329	1,902,718
利息及び配当金の受取額	30,152	35,923
利息の支払額	△45,376	△37,114
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△33,050	△80,119
営業活動によるキャッシュ・フロー	△665,604	1,821,407
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△43,161	△33,854
投資有価証券の取得による支出	－	△307,724
その他	△13,876	342
投資活動によるキャッシュ・フロー	△57,037	△341,236
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	705,160	△1,050,000
長期借入れによる収入	－	300,000
その他	△26,640	△27,713
財務活動によるキャッシュ・フロー	678,519	△777,713
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,453	105
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△45,575	702,563
現金及び現金同等物の期首残高	4,930,264	4,835,485
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,884,688	5,538,049

（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

４．補足情報

生産、受注及び販売の状況（連結）

① 生産の状況

製品別	前第２四半期連結累計期間（自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）		当第２四半期連結累計期間（自 平成25年４月１日 至 平成25年９月30日）		前連結会計年度（自 平成24年４月１日 至 平成25年３月31日）	
	金額（千円）	構成比（％）	金額（千円）	構成比（％）	金額（千円）	構成比（％）
橋梁	7,594,630	80.3	9,786,802	88.0	15,671,471	80.7
建築他	1,863,797	19.7	1,340,520	12.0	3,752,764	19.3
合計	9,458,427	100.0	11,127,322	100.0	19,424,235	100.0

② 受注の状況

（受注高）

製品別	前第２四半期連結累計期間（自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）		当第２四半期連結累計期間（自 平成25年４月１日 至 平成25年９月30日）		前連結会計年度（自 平成24年４月１日 至 平成25年３月31日）	
	金額（千円）	構成比（％）	金額（千円）	構成比（％）	金額（千円）	構成比（％）
橋梁	8,542,339	85.7	8,266,156	89.7	19,486,314	88.2
建築他	1,429,758	14.3	944,120	10.3	2,600,139	11.8
合計	9,972,097	100.0	9,210,277	100.0	22,086,453	100.0

（受注残高）

製品別	前第２四半期連結会計期間末（平成24年９月30日）		当第２四半期連結会計期間末（平成25年９月30日）		前連結会計年度末（平成25年３月31日）	
	金額（千円）	構成比（％）	金額（千円）	構成比（％）	金額（千円）	構成比（％）
橋梁	20,664,298	87.6	22,049,149	92.4	23,580,686	91.5
建築他	2,921,552	12.4	1,810,814	7.6	2,203,033	8.5
合計	23,585,851	100.0	23,859,964	100.0	25,783,719	100.0

③ 販売の状況

製品別	前第２四半期連結累計期間（自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）		当第２四半期連結累計期間（自 平成25年４月１日 至 平成25年９月30日）		前連結会計年度（自 平成24年４月１日 至 平成25年３月31日）	
	金額（千円）	構成比（％）	金額（千円）	構成比（％）	金額（千円）	構成比（％）
橋梁	7,646,122	80.4	9,797,692	88.0	15,673,709	80.7
建築他	1,866,641	19.6	1,336,339	12.0	3,755,541	19.3
合計	9,512,763	100.0	11,134,032	100.0	19,429,251	100.0

※ 橋梁とは、新設橋梁の設計・製作・現場施工、既設橋梁の維持・補修・補強、橋梁周辺鋼構造物、複合構造物の設計・製作・現場施工、プレストレストコンクリート橋梁、ＦＲＰ構造物、その他土木事業であります。

建築他とは、大空間・超高層建築物、鉄塔、煙突、工場建物、その他鋼構造物の製作・現場施工、既設構造物の耐震・免震工事、その他の事業であります。